

**電機産業における
型取引適正化に向けた取組の
進捗状況**

一般社団法人電子情報技術産業協会 資材管理専門委員会

1-1 自主行動計画における型管理適正化方針

世耕プランを受けて、型管理適正化を推進

情報通信機器産業 「適正取引の推進と価値共創に向けた自主行動計画」
(2018.5 策定 2019.3 改訂 電機4団体共同 一般社団法人日本電機工業会、一般社
法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)

「3. 金型の管理の適正化」

取組方針

各社での取り組みを業界として支援

課題を抱える企業へノウハウ提供（理論、実務に役立つツール）等
を行い業界における「金型管理の適正化」への取組を更に推進する

「情報通信機器産業における型管理適正化のための指針
—正しい金型管理のあり方—」
を取纏め、書籍として公表

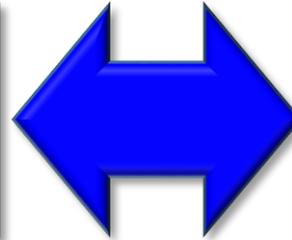
1-2 情報通信機器産業における型管理適正化のための指針

1. 製造委託として書面交付、60日以内の支払(金型の場合)
2. 量産終了後の保管等費用の明確化
(部品代への値増折込/別途支払い)
3. 「3年1年ルール」※による整理(引取り/廃棄処分)
併せて、
 - ・下請事業者からする非稼動連絡・“整理要望”申告の方法
 - ・廃棄処分を下請事業者に委託する場合の留意事項
 - ・型に知的財産権が含まれる場合の留意事項
4. 補修/再製費用負担の考え方

※「3年1年ルール」: 実際の需要の減少・終了をみて判断する
「最後に当該金型を使用した後3年が経過したときに、
その時点から将来を見て1年以内に次の使用(部品生産)が
あると確実視できない場合は、引取り(下請事業者に
廃棄事務の委任を行う場合を含む。)を行うべし。」

2 現状の分析

社内ルールの理論化、整備は
進んだ（管理専門委員会会員）
“実行”の段階に入っている



当委員会以外会員会
社の実態把握、指導
援助ができていない



明らかに不要不急と判断でき
る金型の整理が進むも、判断
に窮するものあり
さらなる指針が必要

ex. 顧客と20年間の保守
契約があるエレベータ
用保守品

保管費用設定における下請事
業者側の積極的提案が必要

「型に含まれる下請事業者が
保有する知的財産権」の尊重
についてのルール化・啓蒙は、
途上にある

“with コロナ” での下請事業者さん側とのコミュニケーションの取り方

3 今後の課題と施策の方向性

1. 各社社内再徹底と
社内フォローアップ

2. 委員会以外会員会社への
指導・援助
(WEB講習会、相談室開設等)

3. 実行進捗状況の定期的把握 (具体的数値の把握については、
業界団体では限界あり 中小企業庁殿にデータ提供をお願いしたく)

下請事業者さんとの協調

4. 保管費用設定における
下請事業者側の積極的提案

5. “with コロナ”での下請事
業者さんとのコミュニケーション促進

業種間での整合性

6. 産業機械分野、重電分野
における指針細部の検討
(日本産業機械工業会殿、
日本航空宇宙工業会殿との
意見交換・協議を希望)

新しい視点への展開

7. 型に関する知財についての
分析・指針作成・啓蒙が必要

以上